



雪印種苗の緑肥作物特性表(2020)

緑肥作物は、堆肥等のかわりに肥料効果が期待される作物として古くから利用されてきました。弊社では肥料効果だけでなく、「ハイオーツ」に代表される線虫抑制効果が期待される緑肥の開発も行ない、近年、各地で注目され利用場面が多くなっています。

道内用

品 種 *	種 類 (草 種)	センチュウ 抑制		緑肥の効果							利用					播 種 量 (kg/10a)	播 種 期 (月・旬)	特 性			
		カタネグササレ	キタネコブ	ダイズシスト	サツマイモネコブ ¹⁾	有機物の補給	空中窒素固定	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・隔離作物	景観美化	休閑	短期休閑	後作				間作	越冬	施設ハウス
ハイオーツ	アウエナストリゴサ (エンバク野生種)	●	●			●		●		●				●	●	●		●	10～15	4下～6中 7下～9上	初期生育旺盛、細葉・多葉で多収。カタネグササレセンチュウ対抗作物。センチュウ対策は15kg/10a、9月播きは20kg/10a。
キカラシ (メテックス)	シロガラシ					●		●		●				●	●	●		●	2～3	4下～6中 7下～8下	生育旺盛で多収。テンサイの前作に適する（収量性を改善）。鮮やかな黄色い花をつける。
辛 神 ²⁾	カラシナ					●		●		●		●		●	●			●	コート 1.0～1.5	露地：5月 ハウス：2～4月	辛味の成分含量が高いアブラナ科緑肥。着蕾～開花始の茎葉部の多い時期にできるだけ細断して動き込む。ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。景観緑肥にはキカラシのほうが良い。テンサイ根腐病、ホウレンソウ萎凋病、コムギ立枯病の発病軽減効果が期待できる。
																		8月 (ハウスも)		8月上旬までにできるだけ播種を終える。ハウス等残肥が多い場合は無施肥でも可。	
まめ助(ナモイ)	ヘアリーベッチ					●	●	●		●				●	●				5	5上～6中 7下～8中	小麦や早出し作物後に播種できるマメ科緑肥。根粒菌も着生。
藤えもん(マッサ)	ヘアリーベッチ					●	●	●		●		●		●	●				4～5	5上～6中 7下～8中	耐湿性に優れ、根粒菌も着生。
寒太郎(サバン)	ヘアリーベッチ					●	●	●		●		●	●	●	●		●		5	5上～6中 9中～下	越冬性と耐湿性に優れる。長期栽培で雑草抑制が期待できる。
まめゆたか	まめ助(ナモイ):5kg とちゆたか:3kg 混播セット					●	●	●		●				●	●				8	5上～6中 7下～8下	直立性エンバク「とちゆたか」とベッチ類「まめ助」との混播。根粒菌の着生と8月下旬播種でも可能なセット。
ねまへらそう (スーパードン2)	スーダングラス	●	●			●		●		●	●	●		●				●	5	露地：6～7月 ハウス：5～8月	ハイオーツに準じてネグササレセンチュウを減らす。秋播き小麦の休閑に適する。栽培期間が長く、多収。ドリフト対策の障壁作物として利用。
つちたろう (ジャンボ)	ソルガム		●		●	●		●		●	●	●		●				●	5	露地：6～7月 ハウス：5～8月	低温伸長性に優れ、初期生育が良好。種子が小粒でスタン形成が良好。ドリフト対策の障壁作物として利用。 クリーニングクロップ利用は無施肥。サツマイモネコブセンチュウ対抗作物。
くれない	クリムソクローバ		●			●	●	●		●		●		●	●				2～3	4下～6中 7下～8上	ダイズシストセンチュウ対抗作物。根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。深紅の花が景観美化に適する（春播きのみ開花）。
アンジェリア	ハゼリソウ					●				●	●	●		●					2～3	5～6月	春播きで生育旺盛、被覆が早く雑草対策となる。綺麗な紫色の花が咲き、蜂花植物としても適する。花は8月まで楽しめる。前作で栽培するとネギの生育が良好（府県で実証）。
とちゆたか	エンバク		●			●		●		●	●	●		●	●			後作・休閑： 10～15 間作：5～8	4下～6中 7下～8中	耐病・耐倒伏性の直立性エンバク。園芸作物や早春の防風作物に適する。カボチャの間作やタネバレイシの隔離作物として利用。また、ドリフト対策の障壁作物として利用。	
R-007 (ウィーラー)	ライムギ	●	●			●		●		●	●			●	●		●		10～15	8下～9上(年内) 9中～下(越冬)	タマネギの後作緑肥に適する（保水力の増加や土を軟らかくする）。越冬させて早春の土壌侵食防止に適する。ドリフト対策の障壁作物として利用。秋播きでカタネグササレセンチュウを抑制。
メジウム	アカクローバ			●		●	●	●		●		●		●				休閑：2～3 小麦間作： 3～4	5～6月 4月（出来る だけ早く）	根粒菌により空中窒素を固定し、地力を増強。ダイズシストセンチュウ対抗作物。小麦間作は適度に土壌水分があるうちに播種する。	
スワン	エンバク		●			●	●		●					●	●				15～20	7下～8中	早生エンバク（春播きは不適）。

都府県用

品種*	種類 (草種)	センチュウ抑制			緑肥の効果							利用					播種量 (kg/10a)	播種期(月・旬)			特 性
		サツマイモネコブ	カタネグササレ	ダイズシスト	有機物の補給	空中窒素の固定	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・隔離	景観美化	休閑	後作	間作	越冬	施設ハウス		東北・高冷地	一般地	西南暖地	
辛神 ²⁾	カラシナ	● ₃₎						●	●	●	●	●	●	●		●	1.0	5上~6下 8下~9上 (年内利用)	3上~4下 10中~11上	2上~3下 10下~11中	土壌病害、サツマイモネコブセンチュウ対策に。
ハイオーツ	アウエナストリガ (エンバク野生種)		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	10~15	4上~6上 8中~9上	3上~5下 8下~9中 10中~11上	2下~5上 8下~9下 10下~11下	ダイコン、ニンジン、ナガイモの線虫対策。キャベツ、ハクサイの根こぶ病対策に。
スナイパー	エンバク	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●			8~10	—	8下~9中	9上~9下 9下~10上 離島(種子島等)	サツマイモネコブセンチュウ対策に、晩夏~冬の空畑を有効利用。 南九州など秋季温暖な地域では9月中旬~9月末の播種が望ましい。
とちゆたか	エンバク		●				●	●	●	●	●	●	●	●			間作5~8 すき込み 8~10	4上~6上 8中~9上	3上~5下 8下~9中 10中~11上	2下~5上 8下~9下 10下~11下	コンニャク、高原野菜の防風・敷ワラに。
たちいぶき	エンバク	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●			6~8	—	8下~9上	8下~9中	サツマイモの線虫対策。

- : おすすめ ○: 適する
1) サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。
2) アブラナ科野菜の根こぶ病発生圃場での使用はお避け下さい。
3) 秋播き越冬栽培で茎葉4t以上すき込んだ場合に効果あり。

※ 品種名が商品名と異なる場合は、商品名の後ろに書かれている()内に品種名を記載しています。

都府県用

品種*	種類 (草種)	センチュウ抑制					緑肥の効果				利用					播種量 (kg/10a)	播種期(月・旬)			特 性				
		サツマイモネコブ ¹⁾	ジャワネコブ	カタネコブ	アレナリアネコブ	ミナミネグサレ	ナミシシユク	ダイズシスト	透水性の改善	塩類除去	土壌保全	防風・障壁	景観美化	休閑	後作		果樹草生	間作	越冬		施設ハウス	東北・高冷地	一般地	西南暖地
R-007 (ウィーラー)	ライムギ			●	●			●		●	●		●	●	●	●	●		●	6～8 10～15	3下～5上 9上～10中	3上～4中 9下～12上	1下～4中 10上～12下	秋播きでカタネグサレセンチュウ対策に。 春播きで雑草管理や土壌流出防止に。
緑春Ⅱ(レンズ アブルツツ)	ライムギ			●				●		●	●		●	●	●	●	●			6～8	3下～5上 9上～10中	3上～4中 9下～12上	1下～4中 10上～12下	高原野菜や果樹類の敷ワラに。 果樹園の草生栽培。
つちたろう (ジャンボ)	ソルガム	●		●				●	●	●				●	●				●	5	5下～7下 (露地) 5月～7月 (ハウス)	5中～8中 (露地) 5月～8月 (ハウス)	5上～9上 (露地) 5月～8月 (ハウス)	サツマイモネコブセンチュウ対策に。 ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有 機物補給に。
ねまへらそう (スーパーダン2)	スーダングラス	●		●	●			●	●	●				●	●				●	5	5下～7下 (露地) 5上～7下 (ハウス)	5中～8上 (露地) 5上～8下 (ハウス)	5上～8中 (露地) 5上～8下 (ハウス)	ダイコン、ニンジンの線虫対策。
短尺ソルゴー	ソルガム			●				●	●	●	●			●	●					条播 1～2 散播 4～5	5下～7下	5中～8上	5上～8下	ドリフトガード、防風対策に。
堆肥ソルゴー (FS1605)	ソルガム			●				●	●	●				●	●					2～3	—	—	5上～8中 2月～11月(沖縄)	地力増進に。
グリーンソルゴー (スーパーダン)	ソルガム			●				●	●	●				●	●				●	4～5	5下～7下	5中～8上	5上～8下	ハウス、キュウリ、トマト、イチゴ、露地野菜の有 機物補給に。
ヤヨイワセ	イタリアライグラス			●				●	●	●				●	●				●	4～5	9上～10中	9下～10下	10上～11中 2下～3中	水田裏作緑肥。
ST-1 (SAブラウン)	テフグラス			●				●		●				●	●	●	●	●	●	1～2	—	5中～7中	3中～9下	茶園・果樹園等でのリビングマルチ利用、畝間利用。
ゾロ	オナギナグサ			●				●		●	●				●					2～3	9上～9下	9中～10中	9下～11上	草生栽培 刈取り管理不用で省力化。
藤えもん (マッサ)	ヘアリーベッチ							●		●		●	●	●	●	●			●	3～5	4上～5上 9上～10中 ²⁾	3上～4上 9中～11上	2中～3下 9下～11下	遊休地の雑草・地力対策、柿の草生栽培。水稲、大豆 の前作緑肥。 寒太郎との混播利用でミツバチの蜜源として長期利 用可。
寒太郎 (サバン)	ヘアリーベッチ							●		●		●	●	●	●	●			●	3～5	4上～5上 9上～10中	3上～4上 9中～11上	2中～3下 9下～11下	寒・高冷地での遊休地の雑草・地力対策。水稲、大豆 の前作緑肥。
まめ助 (ナモイ)	ヘアリーベッチ							●		●		●	●	●	●	●			●	3～5	4上～5上 9上～10中 ²⁾	3上～4上 9中～11上	2中～3下 9下～11下	遊休地の雑草・地力対策、柿の草生栽培。水稲、大豆 の前作緑肥。
レンゲ	レンゲ							●		●		●	●	●	●				●	3～4	8中～9上	9上～10上	9中～10下	水田前作緑肥、景観美化。
くれない	グリンソクロバ							●	●	●	●	●	●	●	●				●	2～3	4上～5上 9上～10上	3上～4上 9中～10中	2下～3下 9下～10下	景観美化、ダイズシストセンチュウ対策に。
ネマキング	クロタリヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	6～9	7月(露地) 6上～7下 (ハウス)	5下～7中	5上～8上 2下～9下 (沖縄・ 奄美諸島)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの 各種線虫対策に。
ネマックス	クロタリヤ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	6～9	7月(露地) 6上～7下 (ハウス)	5下～7中	5上～8上 2下～9下 (沖縄・ 奄美諸島)	キュウリ、トマト、メロン、スイカ、サツマイモの 各種線虫対策に。
ネマコロリ	クロタリヤ	●		●		●		●	●	●	●	●	●	●	●				●	6～8	7月(露地) 6上～7下 (ハウス)	5中～7下	5上～8上 2下～9下 (沖縄・ 奄美諸島)	キュウリ、トマト、メロン、スイカのサツマイモネ コブセンチュウ対策に。
田助	セスバニア							●	●	●				●	●					条播4 散播5	6中～7中	5下～7下	5上～8中	水田転換畑の土壌物理性・排水改善と地力向上に。
ダイカンドラ	ダイカンドラ									●					●					5～10	5下～6下	5上～7中	4中～7中	果樹園の難作業場所に。
サンマリノ (NSデユカット)	ヒマワリ									●		●	●	●						条播 1～1.5 散播 1.5～2	5下～6中	5中～7上	4中～8上	矩稈早生で景観美化に適する。 パーティシリウム病の発生圃場へは作付けを避ける。
アンジェリア	ハゼリソウ								●		●	●	●	●				●		2～3	4上～5中	3上～4下 10下～11中	2下～3中 11中～12上	景観美化。 長ネギの前作緑肥。
キカラシ (メテックス)	シロガラシ							●	●		●	●	●	●				●		2～3	4上～5中	3上～3下 11上～11下	2下～3中 11中～12上	景観美化、遊休地対策にも。
ソイルクリーン	ギニアグラス	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●				●	条播 0.3～0.5 散播 1.0～1.5	6下～7上	6上～8上	5中～8中	ダイコン、ニンジン、キュウリ、スイカ、メロンの 線虫対策に。
ナツカゼ	ギニアグラス	●	●	●	●	●		●	●	●				●	●				●	条播 0.3～0.5 散播 1.0～1.5 コート 2.0～3.0	6下～7上	6上～8上	5中～8中	ダイコン、ニンジン、キュウリ、スイカ、メロンの 線虫対策に。
ペンサコラ	パヒアグラス		●					●	●						●					4～5	—	5下～7中	5上～7下	ミカンなどの果樹園の草生栽培。
ボンサイ3000	トールフェスク							●	●						●					5～10	4上～5下 8下～9下	3中～4下 9下～10中	2下～4上 10上～11上	リンゴなどの果樹園の草生栽培。
ヌーブルプラス	ワカギノグサ		●					●	●					●						3～5	4上～5下 8下～9下	3中～4下 9下～10上	—	リンゴなどの果樹園の草生栽培。
マンモスタリアンB (ビリケン)	イタリアライグラス		●					●	●	●				●	●					3～4	4上～4下 9中～10中	3中～4中 9中～10中	2下～4上 9下～11上	ナシなどの果樹園の草生栽培。
アバパール	シロクロバ							●		●	●	●	●	●						2～3	4中～5下 8下～9下	3中～4下 9下～10中	2下～4上 10上～11上	果樹園の草生栽培。
アフリカントール (クラッカージャック ダブルミックス)	マリーゴールド	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	●						0.2～0.5	6月	5下～7上	5上～7中	線虫対策と景観美化に(栽培日数として80日前後が 必要)。

●：おすすめ ○：適する 1) サツマイモネコブセンチュウの系統によっては抵抗性を示さないものがあります。
2) 年内利用。越冬利用する場合には、越冬性に優れる「寒太郎」をお勧めします。

※ 品種名が商品名と異なる場合は、商品名の後ろに書かれている()内に品種名を記載しています。